

2017年度(平成30年3月期)

不二サッシグループ 決算説明資料

2018年5月10日

不二サッシ株式会社

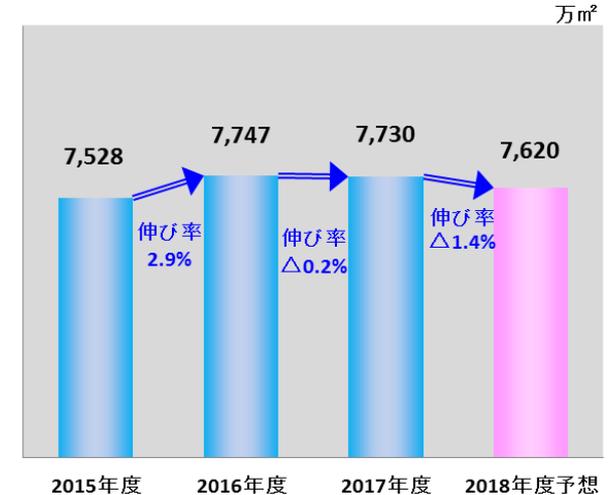
I . 2017年度(平成30年3月期)決算の概要

2017年度における事業環境

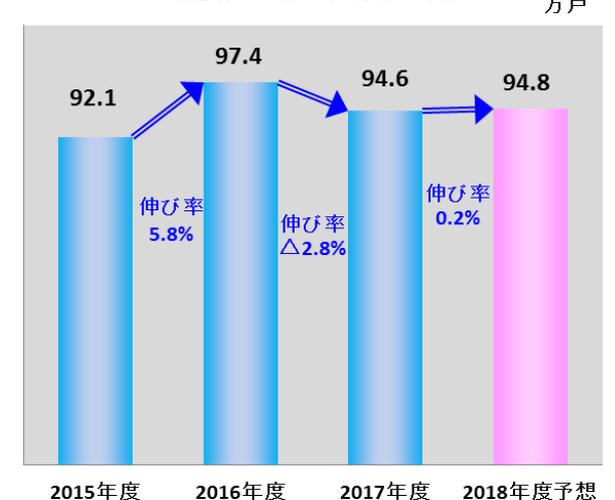
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度 予想
非木造建築物着工床面積(万㎡)	7,528	7,747	7,730	7,620
前年比(伸び率)	-3.6%	2.9%	-0.2%	-1.4%
新設住宅着工戸数(万戸)	92.1	97.4	94.6	94.8
前年比(伸び率)	4.6%	5.8%	-2.8%	0.2%

- 建設投資の先行指標である非木造建築物着工床面積は、2017年度は引き続きホテル・倉庫等が伸びたものの事務所等が減少し、前年度対比で横這いとなりました。
2018年度は東京オリンピック・パラリンピックへ向けた需要は継続して見込まれるものの、地方の市況は厳しく、全体では減少を予想しています。
- 2017年度の住宅着工戸数はマンション・貸家・持家いずれも低調で、前年度対比で減少となりました。
2018年度は持家は消費税増税前の駆け込みが見込まれるものの貸家は減少傾向が続くと予想され、全体では横這いと見込んでいます。

非木造建築物着工床面積(4-3月)



新設住宅着工戸数(4-3月)



2017年度 決算の業績について

【連結】

(百万円)

	2016年度		2017年度						
	実績		実績		前年同期比		計画数字	計画比	
		売上比		売上比	増減額	%		増減額	%
売上高	94,322		98,137		3,815	104.0	98,000	137	100.1
売上原価	78,657	83.4	83,418	85.0	4,761	106.1	82,800	618	100.7
売上総利益	15,664	16.6	14,718	15.0	△946	94.0	15,200	△482	96.8
販管費	13,049	13.8	12,947	13.2	△102	99.2	13,200	△253	98.1
営業利益	2,615	2.8	1,770	1.8	△844	67.7	2,000	△230	88.5
経常利益	2,368	2.5	1,862	1.9	△505	78.7	1,900	△38	98.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,350	4.6	1,639	1.7	△2,711	37.7	1,200	439	136.6

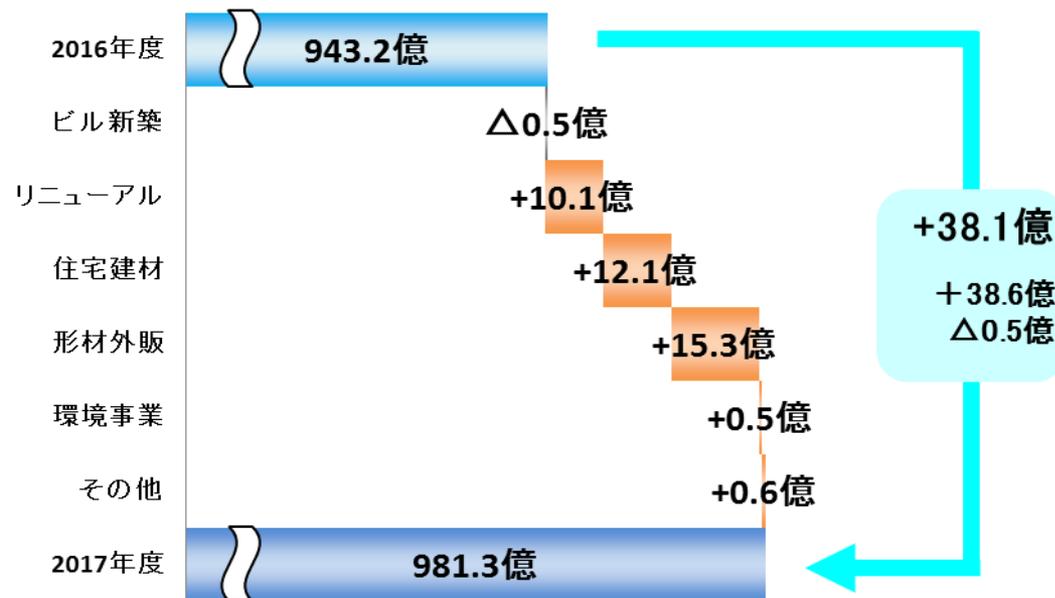
- 2017年度のグループの業績は、建材・形材外販・環境の各事業とも売上を伸ばしたものの、収益面ではビル新築の厳しい受注競争やアルミ地金価格の上昇、設備投資等による固定費増加の影響を受けました。

セグメント別 売上高

【連結】 (百万円)

	売上高		
	2016年度 実績	2017年度 実績	対前年比
建 材 事 業	68,730	70,904	103.2% 2,174
形 材 外 販 事 業	20,313	21,845	107.5% 1,532
環 境 事 業	3,307	3,353	101.4% 46
そ の 他 事 業	1,971	2,033	103.1% 62
(消去又は全社)	-	-	-
合 計	94,322	98,137	104.0% 3,815

■ 売上高増減分析(前年比)



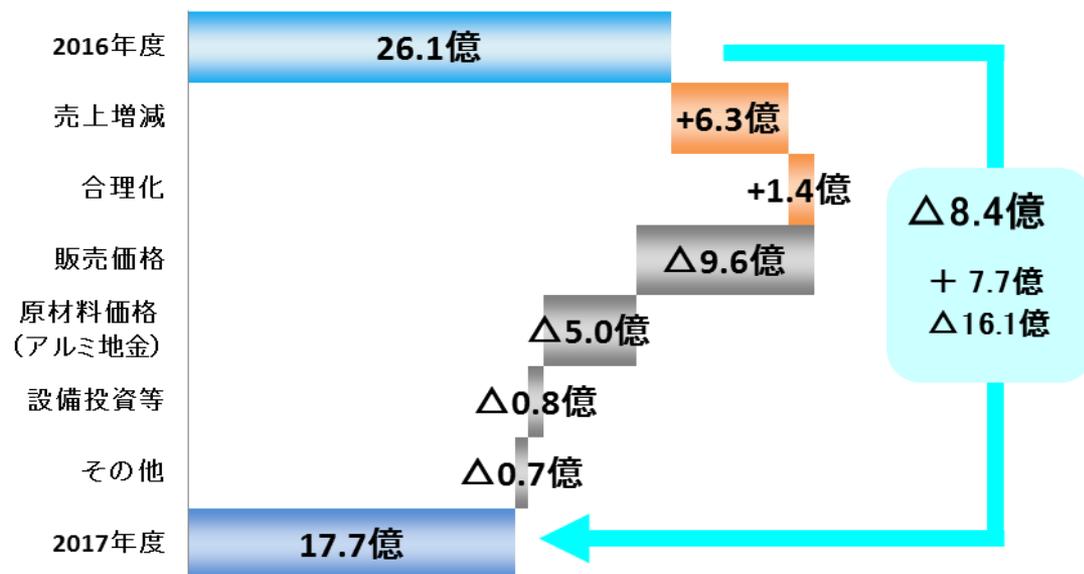
- 建材事業の売上高については、ビル新築事業については若干の減少となったものの、住宅建材事業やリニューアル事業は堅調に推移し、全体では増収となりました。
- 形材外販事業の売上高は、アルミ地金市況に連動した販売単価の上昇により増収となりました。
- 環境事業の売上高は、利益重視の受注活動によりほぼ横這いとなりました。

セグメント別 営業利益

【連結】 (百万円)

	営業利益		
	2016年度 実績	2017年度 実績	対前年比
建 材 事 業	3,306	2,555	77.3% △ 750
形材外販事業	382	398	104.2% 15
環 境 事 業	139	204	146.8% 65
そ の 他 事 業	95	50	52.6% △ 45
(消去又は全社)	(1,307)	(1,438)	(131)
合 計	2,615	1,770	67.7% △ 844

■ 営業利益増減分析(前年比)



- 建材事業の営業利益は、ビル建材事業の競争激化やアルミ地金価格の上昇、設備投資等の固定費増加により減益となりました。
- 形材外販事業の営業利益は、国内では原材料価格の転嫁が進まず減益となったものの、一昨年工場を閉鎖した海外子会社の影響が減少したことにより、全体では増益となりました。
- 環境事業の営業利益は、利益重視の営業活動により増益となりました。

2018年3月 決算財務状況

(百万円)

	2016年度 [※]	2017年度	前期末比
現預金	13,501	14,787	1,286
総資産	85,467	90,952	5,485
利益剰余金	14,479	15,993	1,514
純資産	17,574	19,320	1,746
自己資本	17,450	19,161	1,711
有利子負債	20,765	23,354	2,589
自己資本比率(%)	20.4	21.1	0.7
1株あたり純資産(円)	138.3	151.8	13.5
ROE(%)	29.2	9.0	△20.2
EPS(円)	34.4	13.0	△21.4
期末配当(円)	1.0	1.5	0.5

※ 2016年度は、親会社株主に帰属する当期純利益に繰延税金資産の追加計上に伴う税金費用の影響 2,700百万円を含む

II. 2018年度(平成31年3月期)の業績予想

2018年度 連結通期業績予想について

【連結】

(百万円)

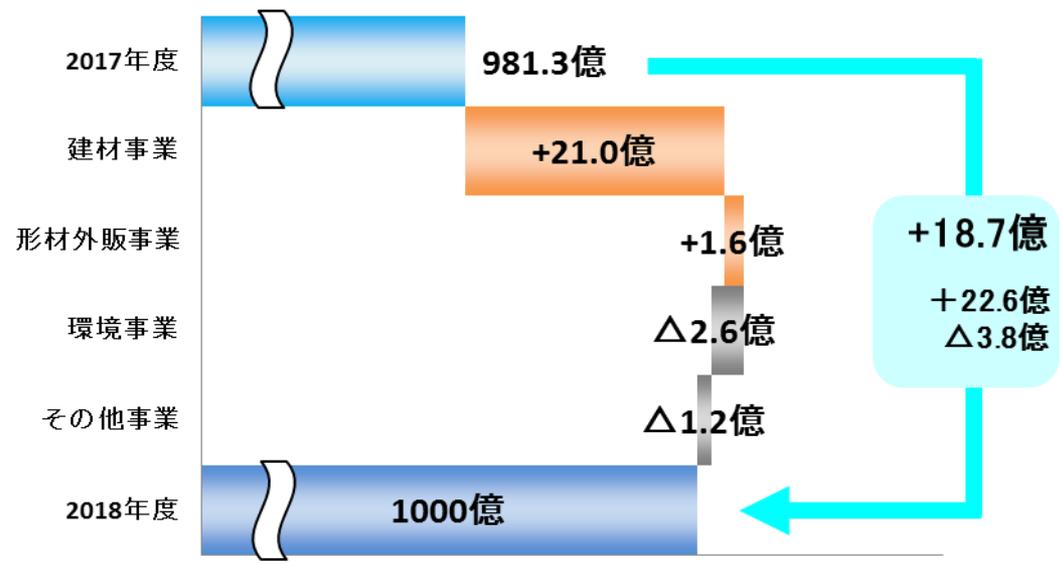
	2017年度通期		2018年度通期			
	実績		予想		前年比	
		売上比		売上比	増減額	%
売上高	98,137		100,000		1,862	101.9
営業利益	1,770	1.8	1,500	1.5	△270	84.7
経常利益	1,862	1.9	1,400	1.4	△462	75.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,639	1.7	800	0.8	△839	48.8

2018年度 連結通期業績予想 - 売上高

【連結】 (百万円)

	売上高		
	2017年度 通期実績	2018年度 通期予想	対前年比
建材事業	70,904	73,000	103.0% 2,096
形材外販事業	21,845	22,000	100.7% 155
環境事業	3,353	3,090	92.2% △263
その他事業	2,033	1,910	93.9% △123
合計	98,137	100,000	101.9% 1,863

■ 売上高予想増減分析(前年比)



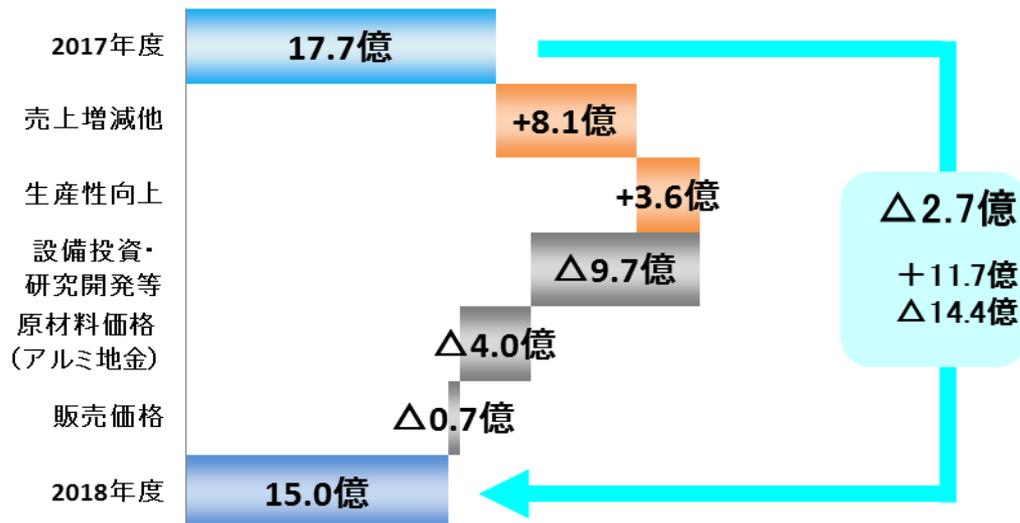
- 建材事業は、ビル建材事業の受注確保と住宅建材事業の拡販により、増収を見込んでいます。
- 形材外販事業は、既存顧客の深耕及び新規顧客開拓により、増収を見込んでいます。
- 環境事業は、焼却施設市場の変化により事業環境が厳しさを増していることから減収を見込んでいます。

2018年度 連結通期業績予想 – 営業利益

■ 営業利益予想増減分析(前年比)

【連結】 (百万円)

	営業利益		
	2017年度 通期実績	2018年度 通期予想	対前年比
建 材 事 業	2,555	2,100	82.2% △ 455
形材外販事業	398	630	158.3% 232
環 境 事 業	204	80	39.2% △ 124
そ の 他 事 業	50	80	160.0% 30
(消去又は全社)	(1,438)	(1,390)	48
合 計	1,770	1,500	84.7% △ 270



- 営業利益は、住宅建材事業・形材外販事業の収益拡大を見込んでおりますが、ビル建材事業の競争激化や設備投資・研究開発投資等による固定費増加、アルミ地金価格の上昇により、15億円を見込んでいます。

III. トピックス

2017年度以降の主なトピックス

2017年4月3日

自然風力換気窓「ウインブレスーEX」を新発売

計画的な自然換気により空調機器のランニングコストを削減し、CO2排出量の削減と建物の省エネルギー化に貢献する製品で、排煙窓機能も備えています。



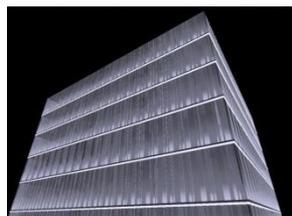
2017年4月10日

タブレットPC用フロントサッシ販売システムを開発

建材特約店様を対象とした店舗出入口等のフロントサッシ改修工事において、意匠イメージの提案から見積・作図・生産までの必要情報を現場で作成し、お見積りから工事完成までの期間短縮を可能にするシステムです。

2017年6月20日

異業種分野の3社コラボレーションによりこれまでにない建築ファサードを提案



不二サッシの建築外装における設計力・施工力、フィグラの独創的な高付加価値ガラス、遠藤照明の商品力・提案力など、3社それぞれが得意とするフィールドのノウハウ・技術を結集。

外装サッシ・カーテンウォールに多彩な演出・デザインを実現するガラスと照明を加えた、革新的な空間演出と建築ファサードをご提案します。

2017年6月27日

「不二太天股份有限公司」設立発表会 開催

不二太天股份有限公司は、不二サッシの技術と太天興業の台湾における販売力により、高級マンションや商業施設、改修工事等のビル市場に向け営業展開し、高品質な商品への需要が拡大している同地域に於ける事業拡大を図ってまいります。

2017年8月18日

不二ライトメタルの熊本県玉名郡長洲町との企業立地協定(増設)締結

不二ライトメタル株式会社は、医療用マグネシウム合金製生体吸収性スキャフォールドの臨床に向けた研究開発設備の増設にあたり、長洲町と企業立地協定を締結。これまで基礎研究を重ねてきた医療用マグネシウム合金開発の成果を臨床段階へ移行する、医療分野における本格的な事業展開へ向けた大きな一歩を踏み出しました。

2017年度以降の主なトピックス

2017年9月4日 不二ライトメタルの大型・長尺材用エージング炉導入について



不二ライトメタル株式会社は、大型・長尺材用 エージング炉の導入を完了、6月より稼動を開始。
近年お客様からのご要望が増している大型・長尺押出材への対応力を高めるとともに、導入に際しては建屋を増築し梱包場を併設することで工場内の生産レイアウトを最適化、生産性の向上にも努めました。

2017年11月1日 不二ライトメタルの難燃性マグネシウム合金について

不二ライトメタル株式会社は、同社が採択を受け実施しているNEDO事業「革新的新構造材料等研究開発」において、共に参画している(国研)産業技術総合研究所及び株式会社戸畑製作所と、従来の製造方法に比べ機械特性を飛躍的に改善した難燃性マグネシウム合金押出材の作製に成功。
今後は、開発した技術をスケールアップすることで実用化に向けた技術開発に取り組んでまいります。

2017年11月2日 ベトナムに現地法人の販売会社を設立

ベトナム社会主義共和国の首都、ハノイ市において現地法人「不二サッシベトナム」が営業を開始。
現地法人にて商品の調達から設計、施工まで一貫して管理することで、高品質な建材商品の供給を実現するとともに、ベトナムの文化や気候風土等に合った、商品の提案をタイムリーに行うことで、お客様からの要望を的確に捉え、より早く、より細部にまで応える事のできる体制整備を目指してまいります。

2017年11月10日 「平成29年度 第11回 製品安全対策優良企業表彰 優良賞」を受賞

2018年4月2日 当社連結子会社によるアジアニッカイ株式会社の株式の取得(孫会社化)

2018年4月17日 千葉事業所内にショールーム「FACING ROOM」をオープン

「平成29年度 第11回 製品安全対策優良企業表彰 優良賞」を受賞

2017年11月10日

■ 不二サッシ株式会社は経済産業省が主催する、平成29年度「第11回製品安全対策優良企業表彰」において、大企業 製造・輸入事業者部門の優良賞（審査委員会賞）を受賞しました。

■ 製品安全優良企業表彰（PSアワード）とは、製品安全に積極的に取り組んでいる製造事業者、輸入事業者、小売販売事業者、各種団体をそれぞれ企業単位で広く公募し、厳正な審査の上で、「製品安全対策優良企業」として表彰するもので今年で11回目となります。

不二サッシグループは、コンプライアンス経営の一環として、製品安全を経営上の責務と位置づけ、お客さまに安心、安全な

製品をお届けするために、グループ全体で製造・販売する製品の安全確保に努め、社会に貢献し、信頼される企業となるよう、積極的に取り組んでいます。



2017
製品安全対策優良企業

【受賞のポイント】

■ 緻密な検証試験に基づく社内基準の確立

- ・ 公的基準のない特殊用途のサッシの安全性確保に向けて、使用環境・使用者の行動に関する情報収集・分析に加え、意図的な壊され方まで検討したうえで、求められる仕様・性能及び試験方法について、検証試験を繰り返しながら、データを採取・蓄積し、自社独自基準の設定や試験方法の開発を行っている。これらの基準等は関係部門による複眼的な評価を経て、「技術指針」、「販売マニュアル」を作成し標準化を図っている。

■ 施工業者と連携した安全確保に向けた取組

- ・ 施工業者をメーカーが代理店を介さず一元管理することで、製品の組立て・施工時の安全性の担保を確保している。全国11ブロックごとに施工業者からなる共済組織を組成し、同組織を通して、施工時における安全性確保のための教育・研修や同社拠点の施工管理者による現場の巡視（安全パトロール）、技術情報の提供や施工事例からのフィードバック、会員間の情報共有を目的にした月1回ベースの「工事共済安全協議会」を行っている。

■ 施工後の安全確保に向けた取組

- ・ 取扱製品のライフサイクルが長期期間にわたることから、「不二サッシ製品年表」により1958年以降に生産した製品に関する情報を管理し、施工後に安全上の不具合が発生した場合に、生産時期が特定できる体制を整えるとともに、メンテナンス金具の30年供給を可能にするなど、製品引き渡し後の長期使用を想定したメンテナンス体制を構築し、運用している。

当社連結子会社によるアジアニッカイ株式会社の 株式の取得(孫会社化)に関して

2018年4月2日

- 不二サッシ株式会社（神奈川・川崎／社長：吉田勉）の連結子会社である日海不二サッシ株式会社（石川・金沢／社長：渡邊尚孝／以下、「日海不二サッシ」）は、すでに一部出資しておりますアジアニッカイ株式会社（石川・金沢／社長：上出聰／以下、「アジアニッカイ」）の全株式を取得し、同社を完全子会社化（当社の孫会社化）することを決議いたしましたので、お知らせいたします。
- 当社グループは、主力事業の建材事業を中心に、アルミ型材・加工品事業、環境事業を積極的に展開しております。日海不二サッシにおいては、北陸地区を営業エリアとして、ビル用建材、住宅用建材の販売および当社グループの生産拠点としてアルミサッシの加工・組立を行っています。
- 一方、アジアニッカイは、石川県内の官公庁を中心に、ビル用建材の営業活動を展開しています。また、日海不二サッシの協力工場として、アルミサッシの加工・組立を行っています。
- 当社グループでは、今回の株式取得が、今後の北陸地区での地域戦略の強化および顧客基盤の拡大につながるものと考えております。

株式取得日：2018年4月1日

※ご参考（2016年度売上高）

- | | |
|----------------|------|
| 1. 日海不二サッシ株式会社 | 50億円 |
| 2. アジアニッカイ株式会社 | 10億円 |

千葉事業所内にショールーム「FACING ROOM」をオープン

2018年4月17日

- 不二サッシ株式会社（代表取締役社長 吉田 勉）は、千葉事業所内（千葉県市原市）にショールーム「FACING ROOM」をオープンいたしました。
- 「取引先の方々に、不二サッシのものづくりをより深く知っていただきたい」との思いから誕生した当ショールームは、3つのエリアから構成されており、約570平方メートルの展示空間に創業90周年という節目の時へ、そしてその先の「100年企業」を見据えた取り組みなどを凝縮いたしました。社会の発展やより豊かな生活の創造に貢献する当社の企業コンセプトはもとより、創業以来、歩んできた歴史、積み重ねた豊富な実績、生活の中で活躍する基幹商品、その製造工程、そして未来に向けた新たな事業展開、社員一人ひとりの将来に向けた思いなどをご紹介します。



ショールーム エントランス

<所在地>

千葉県市原市八幡海岸通13

不二サッシ株式会社 千葉事業所

<見学について>

予約制

窓から夢をひろげていきます
不二サッシ